



大野市教育委員会たより

令和元年10月17日発行 第28号

発行 大野市教育委員会教育総務課
〒912-0086 大野市天神町1-1
電話 0779-64-4827 Fax0779-69-9110
E-mail kyoikusomu@city.fukui-ono.lg.jp

近年、情報化やグローバル化といった社会的変化が、私たちの予測を超えて進展しているなど、学校を取り巻く環境が大きく変化しています。そのような中、大野市教育委員会では、将来を担う子どもたち一人一人が自分に対する「自信」を持って楽しく学校に通い、学力等の充実に努めることができるようにするために、より良い教育環境について、皆さまと一緒に考えていきたいと思っております。ご理解とご協力をお願いいたします。

つきましては、先般、開催いたしました「教育環境に関する意見交換会」の結果概要について、お知らせします。

開催日：10月10日（木）午後7時～8時35分 次第 ・1部 子育て講演（講師：久保教育長）
場 所：荒島保育園 ・2部 意見交換
対象者：保護者（7人）・保育士（8人）

※以下は、「2部 意見交換」で保護者の皆さまと意見交換させていただいた『主な内容』です。

※保護者からの意見を○、教育委員会の意見を■で表示しています。

- 自分の周囲の保護者は、学校再編に対しての意見を持っていない。再編が絶対嫌だという意識はなく、なるようになるという感じである。逆に早く再編をしてほしいと思っているのではないかと思う。
 - ⇒○出生率は確実に減っているので、再編は免れない。阪谷小のようにクラスの人数があまりにも少ないと授業も成り立たない。体育も出来ない。子どものことを考えるとある程度的人数があった方が良いと思う。地域に学校を残したいという気持ちも分からなくはないが、子どもは広い社会に出て行くので、そこそこ学校に人数がいる環境が良い。
 - ⇒■教育委員会でも、再編は必要であると考えている。中学校1校、小学校2校で本当にいいのかを、もう一度見直すこととしている。
 - ⇒○大人数で行う経験をさせられないのが寂しい。
 - ⇒■1学年2学級以上の小学校は3つだけであり、他は1学級しかないため「1年1組の○○さん」とか「1年2組の△△さん」との呼び方を知っている子どもは少ないかもしれない。中学校でも同じような現状である。
- 学業に関しては先生に任せたい。放課後や夏休みなどの長期休業の時、家庭での見守り方を充実させて欲しい。富田小では夏休みにプールへ行く時、スクールバスに乗って行けるが、バスが出発するまでの時間に、家に子どもを1人で残しておくことが心配である。
 - 夏休みは放課後子ども教室がないので、西部児童館か東部児童館に登録して、保護者が送迎をしないと行けない。希望する児童館に空きがなければ入ることも出来ない。1日200円が掛かるのであれば、シルバー人材センターなどから人を派遣してもらい、地域で子どもを見てもらえる環境を作って欲しい。その際、学校や公民館を無料で開放するようなことを考えて欲しい。
 - 夏休み中でも学校に先生が来ているので、プールが終わった後、学校の先生に見てもらえると有難い。
 - 児童館に登録した場合、他校の児童が学校のプールに入れるようにして欲しい。（例：富田小児童が西部児童館に登録し、有終西小のプールに入るなど）
 - 学校が再編で遠くなると、子どもを預ける方法が不安である。
 - ⇒■児童館の所管は福祉こども課で、放課後子ども教室の所管は生涯学習課になる。現在、どこの児童館も定員一杯であり、空いているのは西部児童館ぐらいであると聞いている。児童館では安全管理のため、遊びに制限があり、プールも計画的に入るとのことである。子どもの見守りなども含めて、小学校に入ってから課題はとても多い。
 - ⇒■今年の夏休みから、子どもや高齢者のためにエキサイト広場を開放することとしたが、体育館は使用料を支払って利用する団体がいるため、休館日（水曜日）のみであった。それ以外の和室やロビーは平日でも使用することが出来た。あまりたくさんの利用者はいなかったが、今年の冬や来年以降も開放することが出来ないかを検討している。少しずつ、保護者と子どもが雨が降った時でも施設内で遊ぶことが出来るように考えている。
 - ⇒○仕事をしている時に、小学校低学年の子どもが家に1人で居るのが不安である。そのため、職場の近くで、何かあった時に迎えに行ける距離の預ける場所を探している。
 - ⇒○村部に行けば行くほど、友だちとの家の距離が遠くなる。昔は家からちよつとの距離に友だちが居た。近所に同性の友だちがいなかったため、車で送迎しないと行けない状況である。子どもたちだけでも集合できるような安全な場所があれば安心である。
 - ⇒○夏休みになると遊びに行く家がないため、公民館などの1部屋を開放してもらえると嬉しい。

- ⇒■富田小が再編になった場合、学校とか公民館とかに子どもの集まる場所があればいいのか。
⇒◎あまり遠くなくて、安全に居られる場所があればいい。
- ◎和泉地区からスクールバスで来る場合、その子どもの中に自閉症や落ち着かない子などがいたら、誰が対応するのか。
⇒■市では各学校に結の故郷教育支援員や就学支援員を配置し、落ち着かない子などの対応をしている。将来的には、支援員などを活用することを検討していかなければならないかも知れない。
- ◎ランドセルは、色など自由であると言われているが、ナップサックを使用しないといけないのか。
⇒■ランドセルは各学校で決めている。再編を行った時に再度見直しをしていく必要があるかも知れない。ナップサック形式の方が安くて長持ちするという声もある。各学校で保護者の意見を聞きながら、変えていくことはできると思う。
⇒◎他の場所での意見交換会で、再編後、学用品は他の子どもと違っていても子どもは気にしないだろうと言っていたが、自分は気になる。途中で買い直す予算はない。大野市の学校すべてで学用品（体操服やズックなど）を統一すれば、後の問題はなくなると思う。
⇒■再編の校数によると思う。すべて同じ体操服だと、どこの学校か分からない場合がある。体操服でどの学校かが分かる良さもある。制服だけはどの学校も同じである。
⇒■蕨生小と富田小が平成24年度に再編された時、制服や体操服、ナップサック、ズック、帽子などの購入に係る補助を市が行っている。
- ◎小学校が2校になったら、どこが候補地になるのか。
⇒■候補地は全く決まっていない。今年は、再編などについていろいろな意見をお聞きし、来年度見直し案を作りたい。そして、その案に対して、また多くの方から意見を聞いていきたい。
⇒◎候補地などがはっきり決まった方が助かる。具体的に説明してくれた方が安心する。
- ◎まちなか循環バスの本数や街灯を増やして欲しい。
⇒■再編に関連する検討事項はたくさんある。
- ◎再編は早くして欲しい。誰がどう反対しているのか。再編したら、またそこから課題が見つかると思う。小さい学校から大きい学校に再編となった時の子どもたちのケアはどうしているのか気になる。
⇒■クラス編制で、1人ずつにすると心細くなるので2～3人を同じクラスにしている。最初は子どもも戸惑うことがあるが、すぐになじんでいく。教職員は常に小さい学校から来た子どもたちに対して気を張っている。
⇒■蕨生小と富田小が再編した時、蕨生小の教職員を富田小に異動させて子どもを安心させた。一番は子どもが不安になってはいけなないと考えている。
- ◎再編は賛成だったのだが、何が理由でストップしたのか。
⇒◎自分が感じたことは、再編を反対していたのは高齢の方で、学校がなくなると地域がなくなると強く言っていた。個人的には、地域の衰退と学校は別の話だと思っている。反対の声の方が大きい。賛成の人はだまっていた。そんな雰囲気だった。
⇒◎学校は避難所となっているが、再編した後はどうなるのか。
⇒■地域には災害の避難所を残していかないといけない。校舎を壊して体育館を残すとか、別の場所を避難所にするなど、再編と併せて考えていかなければならない。
- ◎スクールバスの運行は、順々に子どもを乗せていくのか。自分の子どもは、学校が近いので7時25分に集合して集団登校する。バス通学で出発時刻が早くなると、家事なども早くしないといけなくなる。
⇒◎自分の子どもは6時50分に家を出る。
⇒■意見交換会でのアンケートにおける保護者の一番の不安は登下校についてである。再編でスクールバスを何台も用意できるか、どのようなコースがいいのかをしっかりと考えていかなければならない。スクールバスによる登下校も含めて、再編計画の見直しについては、慎重に、丁寧に、一歩ずつ進めていく必要がある。



お仕事等でお忙しい中、ご出席いただきました保護者の皆さま、ありがとうございました。紙面の関係上、割愛している部分がございます。ご了承をお願いします。本たよりは、大野市ホームページにも掲載を予定しています。